

「生きる目的」

皆さん、こんにちは。
今日は、「生きる目的」いう題目で、説教を致します。
はじめに、聖書を拝読します。

神は自分のかたちに人を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女とに創造された。

神は彼らを祝福して言われた、「生めよ、ふえよ、地に満ちよ、地を従わせよ。また海の魚と、空の鳥と、地に動くすべての生き物とを治めよ」。

(『旧約聖書』創世記 1 章 27～28 節)

人生という名の電車

ある例え話をしましょう。

A 君が電車に乗っていると、その乗客の中に、偶然友達の B 君がいることに気がつきました。A 君は B 君に話しかけました。「やあ B 君！奇遇だね！B 君はどこから電車に乗ってきたの？」

すると B 君は答えました。「分からない」と。

A 君は不思議に思って、さらに B 君に尋ねました。「分からない？じゃあどこの駅まで行くの？」

B 君は答えました。「分からないんだ」

A 君は驚いて聞き返しました。「ええ？乗ってきた駅も、どこの駅まで行くのかも分からないだって？じゃあ一体 B 君はなんでこの電車に乗っているの？」

B 君は答えました。「…分からない」

もし、皆さんがこのような状況に出くわしたら、とても困惑しますよね。そして、その友達のことがひどく心配になることでしょう。何せ、乗って来た場所も、目的地も、そして乗っている理由も分からないのですから。

では、この電車を人生に置き換えて、さきほどの例え話をしてみましょう。

A 君は B 君に尋ねました。「B 君、B 君はどうして生まれてきたの？」

すると B 君は答えました。「分からない」

A 君はさらに B 君に尋ねました。「分からない？じゃあどんな目的で生きているの？」

B 君は答えました。「分からないんだ」

A 君は驚いて聞き返しました。「ええ？どうして生まれてきたかも、どこに向かって生きていくのかも分からないだって？じゃあ一体 B 君はなんで生きているの？」

B 君は答えました。「…分からない」

いかがでしょうか？

私たちは、気がついたらこの世に生を受けていて、人生という名の電車に乗っています。しかし、どうやってその電車に乗ったのか、その電車ですどこに行くのか、何のために電車に乗っているのか、分からないでいるのです。

それが、「どこから来て、どこへ行くのか、何のために生きるのか」という、人間誰しもが直面する人生の三大疑問です。

人間はこの究極的答えを出せずに苦しんできました。

私たちは、真の父母様が教えてくださった神様のみ言から、この答えをはっきりと知ることができます。

神様の愛によって生きる私たち

真のお父様は、人生の行くべき道について、次のように教えていらっしゃいます。

人生の行くべき道とはどのようなものでしょうか。神様の愛を占領することが、人生の行くべき道です。神様の愛を占領することが、人生の行くべき最高の終着点です。この道は、男性も女性もみな行かなければなりません。すべての人が行くべきなのです。

人生の行くべき道は、無限であられる愛の神様を探す事です。10 回でも 100 回でも、死の峠を経てでも、死んでも絶えず探していくべき、神様の愛を探すのが人生の最高の行くべき道です。

（八大教材教本『天聖經』p.548 地上生活と霊界）

私たちは、神様の愛によって生まれ、神様の愛によって生き、神様の愛の懷に帰っていきます。

世の中では神様を信じない人もいますが、神様がおられて、神様に確かな動機と理由があって、私たち一人一人を創造されたのです。

「創造された」と表現すると、人間も万物の延長のようにつくられたという印象を感じるかもしれませんが、「神様が子供である私たち人間を生んだ」というのが、より正しい表現ではないかと思います。神様と人間は親子なので、お母さんが赤ちゃんを出産する時のように、神様は人間を創造される時に、それと同じかそれ以上の投入と苦勞を持って生んでくださったのです。

ですから、私という存在、人間という存在がいること自体が、神様の愛と投入の現れなのだ、私たちは知ることができます。神様は、皆さん一人一人を愛していらっしゃいます。

神様の創造目的

私たちが生きる目的について考えるとき、神様が私たちを創造された目的がその根本になります。その神様の創造目的は何でしょうか？

それが、冒頭拝読した、聖書の内容になります。「生めよ、ふえよ、地に満ちよ、すべて

の生き物を治めよ」と神様が語りかけられた言葉は、三大祝福のみ言と呼ばれます。

統一原理を学ぶと、個性を完成すること、家庭を完成すること、主管性を完成すること、という三大祝福について知ることができます。その部分を訓読してみましょう。

神はアダムとエバを創造なさったのち、生育せよ、繁殖せよ、万物世界を主管せよ（創一・28）と言われたのである。この三大祝福のみ言に従って、人間が神の国、すなわち天国をつくって喜ぶとき、神もそれを御覧になって、一層喜ばれるということはいうまでもない。

それでは、神の三大祝福は、いかにして完成されるのだろうか。それは、創造の根本基台である四位基台が成就された基盤の上でのみ成就されるのである。それゆえに、神が被造世界を創造なさった目的は、人間をはじめ、すべての被造物が、神を中心として四位基台を完成し、三大祝福のみ言を成就して、天国をつくることにより、善の目的が完成されたのを見て、喜び、楽しめるところにあったのである。

（『原理講論』第一章 創造原理 第三節 創造目的）

このように、神様が願われる立派な人になり、幸せな家庭を築き、豊かな世界を築くこと。そのように生きられれば、私たちは幸せになれるし、それを見ておられる親なる神様もこの上ない幸せを感じる。これが三大祝福であり、神様の創造目的です。

ですから、これから「何のために生きているの？」と質問されたら、「三大祝福をなすため」と答えるのが、神様を中心とする明快な回答になるでしょう。

人生の目的を持って生きる

それでは、A 君と B 君の会話を思い出してみましょう。B 君は神様の愛を中心に生き、三大祝福を成就するために生きている少年になりました。すると、こんな会話になることでしょう。

A 君は B 君に尋ねました。「B 君、B 君はどうして生まれてきたの？」

すると B 君は答えました。「神様が僕を愛しているから生まれてきたんだ」

A 君はさらに B 君に尋ねました。「B 君は何を目標に生きているの？」

B 君は答えました。「神様の愛を色々な人に伝えたいんだ」

A 君は感動して言いました。「すごいね！B 君の人生のモットーを教えてください」

B 君は答えました。「One Family under God！」

このような会話になったら、とても素晴らしいですね。（素晴らしすぎて、少し無理があるでしょうか。）

大切なことは、私たちは神様を知っていて、神様を教えてくださいる真の父母様を知っている、ということです。そして、その神様が私の親なる愛の方であり、私たちをいつも愛し幸せを願ってみ言で導いてくださっています。

日々の生活の中では様々なことがあると思いますが、私たちは神様による人生を自信を持って生きていきましょう。

最後に、真のお母様のみ言を紹介して、説教を終わります。

天の父母様に侍り、真の父母様に実質的に侍るのです。私が皆さんに会ったきょうが、皆さんとしては真の父母に 60 年目にしてこのように近くで会うのです。皆さんは私の息子、娘です。

このように 60 年という時間をかけずに、これからは 1 分 1 秒を惜しみ、一緒に暮らし、天の父母様に侍って生きなければなりません。その生涯がどれだけ興奮して、感謝して、うれしいことなのか見せてあげる生涯を生きなければなりません。

（天地人真の父母様主管 天一国国立大学 未来指導者特別集会における真のお母様のみ言、天一国 8 年 天暦 5 月 7 日（陽 2020.6.27）孝情文和苑）

今日は、「生きる目的」という題目で説教をいたしました。

以上で説教を終わります。ありがとうございました。